

認知症とともに生きるまち・うえだ 希望宣言（案）

認知症は自分や周りの大切な人を含め、誰もがなりうる身近なものとなっています。

上田市では、認知症になっても住み慣れた地域で生きがいと希望をもち、意思と権利が大切にされ、安心して暮らし続けることができる社会の実現を目指しています。

私たち上田市民一人ひとりは、認知症を自分ごととしてとらえ、認知症の人や認知症について正しく理解し、備え、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めるため、ここに「認知症とともに生きるまち・うえだ 希望宣言」を宣言します。

- ① 認知症の人を正しく理解し、子どもから大人まで立場を越えてつながり、思いによりそいます
- ② 自分の思いを大切にし、誰もが希望をもって暮らし歩んでいきます
- ③ ずくをだし、集い・笑い・よく動き、食に気をつけ誰もがなりうる認知症に備えます
- ④ 認知症を誰もが自分ごととしてとらえ、互いを尊重し、支え合い、安心して暮らせるまちをつくります